

“感動” “命” “未来”

学園長 櫻井 幹也

◇感動

賛否両論の中、7月23日東京2020オリンピックが開幕しました。柔道、卓球、体操、スケートボード、ソフトボール、野球等々、数えきれないほどの種目で日本人選手の活躍で勇気づけられました。始業式で児童生徒にも紹介しましたが、柔道の大野選手の言葉が心に響きました。

『開催に賛否両論あることは理解しています。でも我々アスリートの姿を見て、何か心が動く瞬間があれば光栄です』（柔道男子73キログ級 大野将平選手優勝インタビューより）

どの種目も、十分に心に響きました。オリンピックに出られるだけでも偉業なのに、メダル獲得までには想像を超える練習と強い決意がその結果につながったのだと思います。新しい種目、最終日のマラソン含め、オリンピックに参加した選手はみな今後、オリンピックと呼ばれ続けます。現在活躍中のパラリンピアン含め多くの選手が、その活躍とそれまでの苦労などを子供たちに伝えてほしいものです。

◇命

この夏は、記録的な豪雨が日本各地を襲いました。大雨による河川の氾濫、土砂崩れで多数の尊い命が奪われました。本校ホームページ（「校長室より」）にアップした通り、今月15日には本校第二校舎にも避難施設が開設されました。

一方、デルタ株が猛威を振るう新型コロナウィルス感染拡大。市内の感染者数も三桁に近い日が多く、もはやいつどこで感染してもおかしくない状況といえます。学校では、手洗い、消毒、換気をより徹底します。とはいえ限界があるため、保護者の皆様のご協力が必要です。（本日配布した「緊急事態宣言延長に伴う今後の教育活動」も併せてご覧ください。）

一人に一つしかない命。我々大人は、自分の命はもちろん、子供たちの命を全力で守る義務があります。どのような場面、どのような状況においても命を守る行動を皆さんと続けたいと思います。

◇未来

今月22日（日）、約10名の大人が芝生のある第一校庭に集合しました。来年に迫った、ゆくのき学園開校10周年記念誌の表紙を飾る写真を撮るためです。しかし、ただ撮るだけではありません。まぶしい緑の芝生に、なんと「ゆくのき」の文字を刈り取り、それをドローンを使って上空から撮影するのです。一見簡単そうに聞こえますが、大きさ、文字のバランス、見栄え、位置など決めるのにかなり苦労しました。約3時間、ほとんど休みなく作業を続けた甲斐あってとても素敵な写真が撮れました。一つの同じ目標に向かって協働し、皆で解決する姿にゆくのきの頼もしい未来を感じました。

上記3文字は、私にとってこの夏を代表する3文字でした。皆さんにとっては、どのような夏だったでしょうか。予測困難な日々が続きますが、2学期もよろしく願いいたします。

全員で下書き（カラーコーン、ラインカーで）

3時間後にきれいに完成！！



引き渡し訓練について

日時：9月1日（水）10：30～11：20
（引き渡し開始は10：55）

本年度は地区班ごとに引き渡しを行います。詳細は7月9日付配布の「引き渡し訓練について」をご参照ください。

PEN樹脂食器の使用について

本校の給食用食器が、陶器性ものからPEN樹脂へと変更となります。これにより破損等の危険性は減少します。詳細は別紙の町田市教育委員会からの便りをご参照ください。